

みやぎ心のケアセンター通信

Miyagi Disaster Mental Health Care Center

平成 25 年 3 月発行 第 4 号

メディアカンファレンスが開催されました

2月20日(水)

主催:(独)国立精神・神経医療研究センター
自殺予防総合対策センター

共催:みやぎ心のケアセンター

メディアカンファレンスとは、(独)国立精神・神経医療研究センターで、毎年各地で開催しており、メディアの皆様にもメンタルヘルスと自死予防の知識を得ていただくとともに、メディアとメンタルヘルスの領域の相互理解を高めることを目的としたカンファレンスです。

今回は、当センター所属の東松島市出向職員 荒井祐子、小口静による「震災後のメンタルケアについて～東松島市の現状報告～」、筑波大学教授の高橋祥友氏による「ジャーナリストが知っておきたい自死予防の基礎知識」の2つの講演後、意見交換を行いました。メディア、行政、精神保健福祉、NPO法人など多機関からお集まりいただき、メディア報道が与える社会への影響や自死報道について考える場となりました。参加者の皆様からは、自死予防について考える機会となった、大切なテーマなので継続してほしい、などの感想が寄せられ、重要なテーマであったことが伺えました。メディア報道は住民にとって欠かせない情報元であり、影響力はとても大きいものです。同時に、メディアの皆様への影響も同じように大きく、ご自身のメンタルヘルスを振り返っていただくことも大事であることが話し合われました。メディアの皆様には、今後もぜひ関心を寄せていただき、相互に連携を図っていただけるよう、支援の幅を広げていきたいと思います。



「作品展」

民間賃貸仮設にお住いの方を対象として
in 石巻 3/7(木)、8(金)

住民の方が手作りした素敵な作品の数々に、訪れた方やスタッフは興味津々！寄せ植えなどの体験コーナーやお茶っコススペースも設け、来場された方には穏やかなひとときを過ごしていただきました。



「震災心のケア交流会みやぎ in 石巻

～被災者支援の今とこれからを語ろう～
3月1日(金)

高齢者、子ども、障害者の3つの分科会を行い、新潟こころのケアセンター 事務長の本間寛子氏に「被災者支援のこれから」と題し、ご講演いただきました。各領域でご活躍されている皆様の活動を知ることができ、また、石巻地域ではどんな課題が残されているのか、様々な意見が出され、話し合う貴重な時間となりました。

皆様と連携した活動が行えるよう、今後も各地域で交流会を継続していきたいと思ひます。



高齢者の心のケアについての研修会を 石巻・岩沼で開催しました



震災後、住民の精神的な負担はさらに大きくなっており、特に高齢者は老年期に見られる様々な精神的な変化が出やすい状況下にあります。高齢者への日頃の支援に活かしてもらえよう、2月19日(火)石巻、2月26日(火)岩沼にて研修会を開催しました。

講師には東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長(精神科医) 粟田圭一先生をお招きし、主に認知症についてお話していただきました。両日ともに50名近くの参加があり、対応方法や事例を用いた具体的な講演に、日々仮設住宅等で住民と関わる支援員の皆様からは、今後高齢者の方と接する時に変化を見逃さないように学んだことを生かしていきたい、職場で話題にしていきたい、との多くの声があげられました。今回の研修会が皆様の今後の活動の一助となっていたことを願っております。

活動報告(H24.8～12)

※件数はみやぎ心のケアセンターの活動全体の合計となります。

- 支援者へのメンタルヘルス支援 731件
- 家庭訪問による個別支援件数 1874件

→主訴として多いもの

不眠18%/不安・恐怖18%/抑うつ16%
身体症状20%/アルコール12%

→相談の背景として多いもの

近親者喪失9%/居住環境の変化24%
経済生活再建問題9%/家族・家庭問題11%

- 電話による個別支援件数 768件

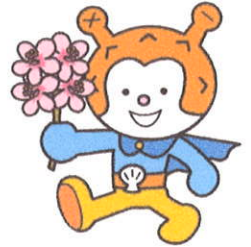
職員から見た地域の特徴

ここではテーマに沿って職員の紹介を行っています。今回は「地域の特徴」です。私達は日々、県内の各地域に出向いて活動しています。その活動の中から見えてきた各地域の特色や状況をご紹介します。

気仙沼地域センター 地域支援課 臨床心理士 駒米 勝利

2012年10月1日気仙沼の駅前で鈴木事務局長さんに出迎えてもらい生まれて初めて気仙沼の地を踏みしめました。そこはイメージに描いていた地の感触と違い乾いていました。訪ね所が見つからず、汗拭きつつ面談をしたその日より、この葉色づき山染まり、早馬山の国神が、白装束で山を下ると里に粉雪舞うという、気仙沼名物突風に飛ばされまいと雪靴はいて、耐えて忍んだ化粧坂、でした。義経と皆鶴姫との悲恋物語に心騒ぎ、中尊寺に参らねばと願いつつ、南三陸通いで過ぎた4か月でした。ホヤぼーやよりはオクトパス君に吸いつかれていたのかもしれませんが。雪道に足とられてた厳冬が去ると、カタクリの咲き乱れる唐桑に、春の来る日が待ち遠しいです。

ホヤぼーや



オクトパス君

石巻地域センター 地域支援課 精神保健福祉士 樋口徹郎

石巻地域は、石巻市・東松島市・女川町の2市1町で構成されています。現在の石巻市は、河北町・河南町・桃生町・北上町・雄勝町・牡鹿町が石巻市に合併して誕生したものです。東松島市も、矢本町と鳴瀬町の合併で誕生しました。

この地域の名物はやはり海産物。三陸沖と沿岸部から豊富な魚介類が提供されます。東松島なら矢本運動公園内の「えんまん亭の牡蠣ラーメン」、女川なら「おかせいの海鮮丼(女川丼)」がお勧めです。石巻ですと「石巻焼きそば」が有名です。石巻合同庁内の共済食堂なら470円でご賞味いただけます。石巻地域センターを訪れる際には、ぜひお試しください！

基幹センター 地域支援課 精神保健福祉士 小笠原礼佳

私は青森から仙台に来て5年が経ちます。平成24年4月より、みやぎ心のケアセンターに入職し、宮城県内の各地域に行く機会が増えました。私が訪問している名取市は、セリ・みょうがなどの特産物や日本一の食味を誇る赤貝など豊富な資源にも恵まれている所です。また、自然が豊かな一方で、空港や駅の交通機関、商業施設等が発展してきています。行くたびに新たな建物が建ち並んできて一方、沿岸部では甚大な被害の痕がまだまだ残っています。

私が感じる名取の方の魅力は、情の深い温かな所です。住民の方に名取のことを教えてもらい、少しずつ特色を知ることが出来ました。地元に対する想いの強さを感じ、これからも名取のことをもっと知っていきたいです。

編集後記

おとし12月にみやぎ心のケアセンターを開所し、あっという間に1年が経過しました。関係機関の皆様には大変お世話になりました。来年度もみやぎ心のケアセンターをよろしく願いいたします。



【連絡先】 基幹センター 企画課

TEL : 022-263-6615

MAIL : kokoro-kikaku@hotmail.co.jp

HP : <http://miyagi-kokoro.org/>